

MOIS では、大きな行事以外にも様々な取り組みが展開されています。
今号では、それらの取り組みをピックアップしたいと思います。

◆避難訓練（竜巻発生）

7月9日（火）に「避難訓練」が実施されました。今回は、竜巻が発生したことを想定し、本校における避難経路や危険な箇所について、実際に避難をしながら確認しました。また竜巻発生時の屋内対応として、机でシェルターを作り、身の安全を確保する方法も学びました。

平成25年に越谷市を襲った竜巻を受け、本校でも竜巻が発生した際、身を守るための対策を考え、避難訓練を実施しています。ご家庭でも、万が一竜巻が発生した際の避難経路や安全確保について話し合っていいただければ幸いです。



◆Mock Trial（模擬裁判）

7月20日（土）に「Mock Trial（模擬裁判）」が行われました。Mock Trial とは、6年生で法や法曹に興味のある生徒が主体となって実施する、模擬裁判のワークショップのことです。

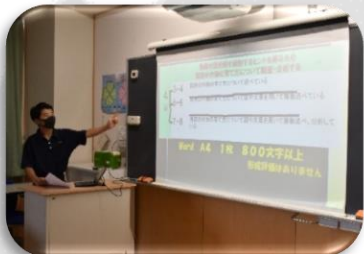
模擬裁判の実施内容は生徒が作成し、検察側、弁護側に分かれて、証人や被告人に対する尋問を行います。1～3年生の生徒も積極的に参加し、興味や関心を高めることができました。内容の監修をいただいた現役弁護士の先生方にもご参加いただき、講評をいただくことができました。模擬裁判を通じて、問題解決力や相互理解、共生の能力を育てていきます。



◆7月 ポートフォリオ検討会

7月には、各学年で「ポートフォリオ検討会」が実施されました。「ポートフォリオ検討会」とは、本校独自の三者面談の形式で、まずは10分間、生徒が教員や保護者の前で、自らの学習成果をポートフォリオを用いて振り返り、評価します。その後、学校での学習や、ご家庭での生活の様子について、保護者と担任で情報を共有するという流れになります。

1年生は、自ら作成したポートフォリオを活用し、保護者の前で堂々と入学からの4ヶ月間の学習成果を発表していました。また5年生は、来年度の進路を見据えて「将来の目標を実現させるための計画書」の内容を説明し、疑問点や課題、今後の具体的な方策について保護者や担任と共有していました。



◆夏季休業前の LDT

自分たちで実行したり、講師の方を招いて講演を行っていただいたりと、様々なワークショップが開催されていました！



中華料理の調理 WS



朝活第一人者を招いて講演



ライブペインティング



マクロ経済で学ぶ投資 WS



筑波大学アドミッションセンターWS



MOIS ショップ

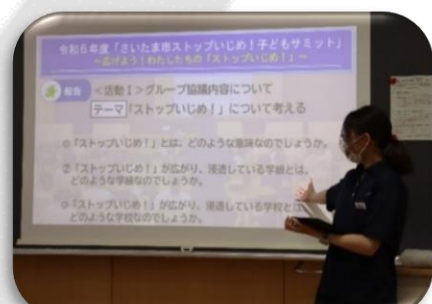
◆MOIS Night

7月22日(月)～26日(金)の5日間で「MOIS Night」が開かれました。期間中の19時より、本校に保護者、教師、社会人、研究者、産業界の方々を招き、人生経験を語っていただきました。詳細は、◆IB コーディネーターより をご覧ください。



◆さいたま市ストップいじめ!子どもサミット

8月2日(金)に「第一回さいたま市ストップいじめ!子どもサミット」が、本校を会場として開催されました。各学校が行っている特色あるいじめ防止の取組をワークショップ形式で発表し、参加者たちがそれぞれの立場からいじめ防止について考える機会を設けます。この活動を通じて、いじめの問題に対する理解を深め、具体的な解決策を探る場を提供します。本校からも1名の生徒が参加し、スライドを用いながら、本校のいじめ防止についてプレゼンテーションを行っていました。



◆模擬国連

8月6日(火)～8日(木)の3日間で「模擬国連」が、本校を会場として開催されました。模擬国連は、生徒が国際政治の仕組みを学び、国際問題の解決策を考える過程を体験します。参加者は国を割り振られ、各国の大使として自国の立場に基づいた政策を立案し、スピーチや交渉を通じて決議案の作成と議決を目指します。

今年度の議題は「核軍縮・核不拡散」で、本校からも生徒が参加しました。担当した国、議題の事前リサーチをしっかりと行ってきたようで、議場では英語で堂々とスピーチを行い、関心を集めていました。



◆学校公開

8月22日(木)と23日(金)に、一般の方を対象とした「学校公開」が実施されました。入学希望者に MOIS で実際どのような授業が行われているのかを見学してもらい、学校への理解を深めていただくことを目的としています。

国際バカロレアの認定を受け、一般的な中学校、高校とは違う「探究的な学習」を中心に行う本校の授業を見学した保護者の方からは、驚きや関心の表情が見て取れました。



◆自転車通学者講習

8月29日(木)の放課後に「自転車通学者講習」が実施されました。

本校では現在、約450名の生徒が自転車通学をしており、自転車事故の増加が懸念されています。今回の講習では、生徒たちに自転車の交通ルールを遵守させ、安全意識を向上させることを目的として行われました。

講習は、生活支援部の主任による講話から始まり、MOIS の自転車通学の現状、日常的な交通ルールの重要性を説明しました。続いて SA「MOIS バイク」のリーダーが「埼玉県・高校生自転車安全運転推進講習会」に参加して得た最新の情報を共有し、ヘルメットの正しい装着やその重要性、具体的な事例を交えて説明しました。スケアード・ストレイトの動画も上映され、自転車事故がもたらす深刻な影響を視覚的にも学びました。



IB Column: MOIS Night

IB コーディネーター: Brad Semans

Parents, teachers, adult members of the community; how many of us can say that we had the opportunity to sit down with well-known researchers, leaders of industry, influential figures that have reshaped our world, and the parents of friends you respect and look up to? During the first week of summer vacation, the first annual MOIS Nights were held. Starting at 7:00 pm each night, parents, university professors, leaders of financial institutions, and even Saitama City's former superintendent of school sat down for a chat with MOIS students. These semi-structured discussions were casual enough that our students had the chance to really talk with our great volunteers. On some of the topics listed below. Next year we will hold MOIS Night again so be ready to join!

TOPICS

- ① 人生で大事にしていることは何か
- ② 人生が変わるような経験
- ③ 座右の銘について
- ④ 人生はどんなものだと思うか
- ⑤ 学生時代と今で人生観について変わったこと
- ⑥ 家族とは何か
- ⑦ 生きるとはどういうことか
- ⑧ 友達とは何か
- ⑨ 社会人とは何か
- ⑩ やさしさ・強さとは何か

保護者、教師、社会人。著名な研究者、産業界のリーダー、私たちの世界を再構築した影響力のある人物、そして尊敬する友人の親と同席する機会を得たと言える人が、私たちの中にどれだけいるでしょうか。

夏休みの最初の週、MOIS Night が開催されました。毎晩 7 時から、保護者、大学教授、金融機関のリーダー、そしてさいたま市の元教育長までもが、MOIS の生徒たちと談笑しました。

ゆるやかに構造化されたディスカッションはカジュアルなもので、以下のトピックのいくつかについて、生徒たちは素晴らしいボランティアたちと本音で語り合うことができました。来年も実施しますので、参加してみましょう！

講師の方々とお話を通して、大きな選択を迫られる場面は誰にでもあり、その時自分が後悔しない選択をするためには、日頃から自分は何を大切にしていきたいのかははっきりさせることが必要であり、それは人によって異なるということが分かった。ある人は「自分に正直に」という考えのもと、時間をかけて慎重に

決めるタイプであったり、ある人はこれからの時代に適応できるよう、自分の付加価値になるか否かで決めるタイプであったりと、選択の仕方は十人十色だった。これまでの 17 年間で選択を迫られる大きな局面にはまだ立たされたことはないからこそ、これからのそのような局面に立った時、講師の方々のお話を思い出し、自分なりの選択方法を見つけたい。

事後アンケートで参加者が挙げた言葉の Word Cloud

—5年生の参加者—

進路 やりたい 仕事 ターニングポイント 社会人
選択 自分 人生 考え 方 やりがい
将来 大学 関心 機会 講師 視点 話し合い 経験 多く



◆『各学年より』

1年生「経験を活かして」

1年生担当：山田 寛之

早いもので入学から6か月が経ちました。これまでの活動を振り返り、これからに活かすことを見つけれられるような機会がたくさんありました。初めての生徒総会では、生徒会の先輩方が提示した校則に関する議案について、一人ひとりが考えて投票をしました。これからの MOIS を作っていく生徒会の一員であることを自覚することができたようでした。

ポートフォリオ検討会では、自らの成長点と課題点を振り返ることができました。成長点では、各教科の課題に取り組む際に、ルーブリックをよく確認しながら取り組むことで評価を上げることができたと振り返っている生徒が多いようでした。課題点では、「スケジュール管理や身の回りの整理」といった自己管理の面で課題を感じている生徒が多かった印象です。ご家庭でも、保護者の方から見たお子さんの成長点や課題点を適宜お話しいただければと思います。1 学年教員一同、保護者の方と膝を突き合わせて様々なお話ができ、非常に有意義な時間となりました。暑い中お越しください、ありがとうございました。

また、7月に MOIS で共に学んだ3人の留学生の皆さんからは、海外の文化を知る機会を得るとともに、新しいことに挑戦する刺激を受けることができました。何かに挑戦して、その経験を振り返ることは、成長することにおいて非常に大切です。挑戦すること、振り返ることの大切さを今後も学校生活の折々で伝えてまいります。



防災訓練にて竜巻シェルター



ポートフォリオ検討会



留学生とのお別れ会

2年生「自分事として捉えて考える」

2年生担当：小木 皓平

先日生徒総会で行われた、Future of MOIS という取り組みのなかで、これからの MOIS がどうなっていくのが理想であるかということについて付箋に書き出し、みんなで共有するという時間がありました。各クラスを見て回っていると、今の MOIS を前向きに捉えている意見もあれば、逆に、「CA をもっと強くしてほしい」「もっと自由な学校にしてほしい」という改善していきたい点について意見を書いている人もいました。どんなことにも、改善できる点はあるはずですから、「してほしい」という言葉を他人事にせず、自分事として転換して、「何ができるか」という視点をもってこれから先の学校生活を過ごしてもらいたいです。

また、夏休み直前には、1 年生との合同レクも開催されました。1・2年合同の HR 委員が時間をかけて全員が楽しめるレクリエーションを考え、1年2名と2年2名の4人グループになって行きました。内容は、協力して謎解きを探しながらクロスワードを埋めていくというものです。人が密集してしまうことやアナウンスが聞こえないなどトラブルもありましたが、みんなが楽しく取り組むことができ、後輩ともたくさん話すことができていました。先輩とも後輩ともたくさん関わり、協力し合いながら、これからの MOIS をより良くしていったらいいと思います。

HR 委員企画の1 年生との合同レクの様子です



3年生「心を動かすための第一歩」

3年生担当:山下 紘輝

先日、全国のダンス部の高校生たちが芸能人と一緒にダンスを創作して、披露するという番組が放映されていました。一生懸命に練習をしていた過程を一目で見て感じさせるほどに、心が動かされるものでした。経験の有無や技術に関わらず、心を動かす・感動させるパフォーマンスには、作り手の苦労や工夫、思いがおのずと反映されているように感じます。

さて、MOIS での学校生活には、様々な成果物を外部や他者に披露する機会が多くあります。3年生として過ごすにあたって、「より多くの他者に」自身の成果を披露することの楽しさ・素晴らしさ、あるいはその必要性を実感することになるでしょう。現状の3年生も、3G の活動の一環として、公民館でワークショップを実施したり、幼稚園に出向いて読み聞かせをしたりするなどして、自身の成果を発信するための第一歩を踏み出している生徒が多く見受けられます。フットワークが軽快になっているのが、昨年度からの成長点だと実感しています。今後のパーソナルプロジェクトや、個人での探究活動、ひいては社会生活のなかで、自身の力を存分に発揮できるように着実にステップアップをしていけることを願っています。ご家庭でもアクティブに活動していくお子様の取り組みについて、サポートしていただけますと幸いです。



～3年3Gの様子のご紹介～

ダンスの作成と紹介をしています！

幼稚園にて、読み聞かせをしました！



4年生「将来につながる学校生活を」

4年生担当:原口 芽

後期課程となって早6か月が経ちました。4年生の生徒たちは、授業に対して積極的に取り組む姿や CA・SA などの活動で中心となって動く姿が見受けられ、それぞれ後期課程生としての自覚を少しずつ持ち始めているようです。また、7月末にはポートフォリオ検討会が行われました。前期課程までのポートフォリオとは異なり、生徒各自が作成する計画書をもとに進路について具体的に考える時間となりました。卒業後のビジョンについて、自分の興味・関心に基づいて既に目標を設定している生徒も、まだ自分が何をしたいか不明確な生徒どちらも、様々な場所に足を向け、多様な経験をしてほしいと思います。可能性が広がるように、ここ、MOIS で日々の勉強も含め、多くのことに挑戦して経験したりすることが重要になってくるのではないかと考えています。夏休み中には必ず 1 回は大学などのオープンキャンパスに行く、という宿題も出しましたが、夏休み後でも、積極的に自分の視野を広げる活動を行っていくよう、ご家庭でもサポートして頂けると幸いです。



合同 DR の様子



3G の活動の様子

[illegible]

オープンキャンパス
チェックシート

5年生「将来を考える」

5年生担当：小澤 星

海外研修を終えあつという間に夏休みに入りました。7月末にはポートフォリオ検討会がおこなわれ、4年生までとは異なり、生徒一人ひとりの理想の将来に向けた計画等を、保護者や教員と共有しました。検討会では、夏休み中の学習計画も考えました。生徒自身で綿密に学習計画や探究活動の計画を立てている姿を見て、昨年度に比べて自立している様子が見えがえしました。海外研修やポートフォリオ検討会など学校での活動を通じて考えたことをもとに、夏休みに参加したオープンキャンパスの経験なども活用して、より確かなキャリア設計につなげてもらえればと考えています。

また、Global コースの生徒はポートフォリオ検討会の期間に Summer Camp を実施しました。朝 8 時から授業が始まり、5Term 分の授業を受けてから夜 8 時まで多様な大人と人生について語るという、ハードなスケジュールでしたが、全員が体調管理に気を付けてやり遂げることができました。1 期生が夜遅くまで学習している姿や、1 期生との会話を通して刺激を受けた生徒もいました。普段はあまり関わる機会がない人と関わることで得た知識を今後の生活に活かしてもらえればと思います。

5年生ポートフォリオ



グローバルコース生徒 Summer Camp



6年生「準備の夏から行動の秋へ」

6年生担当：佐藤 美咲

「夏は受験の天王山」といわれておりますが、天王山とは重要なターニングポイントという意味です。7月下旬に行われたポートフォリオ検討会までに受験の計画、夏休みで受験準備、夏休み明けからはいよいよ実行・行動していく段階に入ります。お子様は、夏のターニングポイントを乗り越え、出願に関するスケジュールに向け具体的に動き出すときです。6年生でも、夏休み明け8月29日（木）にはLHRの時間に大学入学共通テスト出願説明会が行われました。また、総合型選抜や学校推薦型選抜を利用するお子様へ、志望理由書の添削指導や小論文添削、今後始まる面接練習など、出願・受験に向けての支援を行っています。ベネッセ教育研究所の調査では、「大学受験期保護者にしてもらってうれしかったことランキング」（2023.10）3位に「入試スケジュールの管理や手続き」があげられます。複雑なスケジュールや手続きを保護者様も一緒に確認していただけますと、お子様の励みとなると思います。ご家庭での声かけをよろしくお願いいたします。

しかし、大学進学がゴールではありません。自分の人生のゴールへ向けて、見通しをもって自分の資質や能力を高める行動を実践していきましょう。7月9日（火）に行われた竜巻避難訓練でも、自分の状況を把握し、真っ先に行動できるファーストペンギンになれるようにと話しました。



7月9日
竜巻避難訓練
2組の様子

つくったシェルターに
潜ります！なんだか
窮屈で、成長を実感し
ていました。



1組の様子
仲間の安全を守
るファーストペン
ギンになろうと
語っています！